

事業番号	15 07 04	事業改善シート（25年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	社会教育振興事業				担当課	部局	教育委員会事務局	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	文化財・生涯学習課		
	施策の総合的展開	7-3 生涯を通じた学びと文化・スポーツに親しむ環境づくり ◆学びの成果が生きる生涯学習の振興			E-mail	bunsho@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	S57 ~		

### 1 事業の概要

目指す姿	県内の社会教育指導者の資質向上、社会教育関係団体等が行う各種事業への助成等を通じ、社会教育の振興を図る。					
現状	いじめや不登校の問題、コミュニケーション能力の低下や体験活動の減少など青少年を取り巻く多くの課題がある中で、社会教育団体が果たす役割はますます高まっている。					
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 社会教育振興事業補助金交付要綱				
	県民との協働による実施：検討中					
事業内容	① 成果目標 (H25)					
	○第16回日本ジャンボリー事業の成功と参加者負担の軽減 ○長野県図書館大会の成功					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H25事業実績			
			H25 (当初)	H25 (決算)	H26 (当初)	
社会教育振興事業補助金	補助金・交付金	・第16回日本ジャンボリー(開催地:山口県)へのボーイスカウト長野県連盟派遣に係る費用の一部補助(300千円)		300	300	336
長野県図書館大会	負担金	長野県図書館大会(大町市で開催)に係る費用の一部負担。 【参加者】公共・学校・その他図書館及び読書関係者教育委員会 その他一般参加者505名 【内容】基調講演・分科会(14人)手話通訳3人・要約筆記4人配置		107	107	100
		合計	407	407	436	

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越				
	当初予算	548	443	407	436
	補正予算				
	合計(A)	548	443	407	436
	国庫支出金				
	県債				
	その他( )				
	一般財源	548	443	407	436
	決算額(B)	548	443	407	
概算職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	
概算人件費(C)	4,129	4,129	4,129	4,129	
概算事業費(B(A)+C)	4,677	4,572	4,536	4,565	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
日本ジャンボリー参加者数	0	100人	108人	達成	—
図書館大会参加者数	444人	500人	505人	達成	500人

**目標に対する成果の状況**

- ・4年周期で開催される日本ジャンボリーは、国内外からの参加スカウトが「ちかいとおきて」・「スカウト教育法」の実践、野外活動を通じ、高度なプログラム活動への挑戦を行う貴重な機会であり、県連盟は、100名の派遣団を計画し108名を派遣することができた。参加者はスカウト同士の友情の絆を結び、国際感覚を高揚させ、地球規模の課題について考える機会を得ることができた。
- ・県が主催する長野県図書館大会は、関係者がそれぞれの役割と読書活動の重要性を再認識するとともに、資質向上や各種課題を解決する場として開催されており、H25年度も目標参加者数を超えて大会を開催することで、長野県の教育・文化の発展に資する大会となった。

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	社会教育法第12条の規定により、社会教育団体の自主的な活動は尊重し、地方公共団体等は事業に干渉しないことが原則であるが、今後も公共性が高く、社会教育の振興に寄与すると認められる事業に対しては補助金を助成していきたい。